

「新発見！橘曙覧歌集」
たちばなのあけみ

このほど当館に寄贈予定の資料の中に、独楽吟で知られる幕末福井の歌人 橘曙覧（1812-68）の歌集5点が発見されましたので展示します。

いずれも40代前半に曙覧が刊行したもので、これまで生前に編まれた歌集が存在したことは知られていませんでした。これらの歌集によって「わらや」の名称で曙覧が社中^{しやちゆう}*を主宰していたことも初めて確認できました。

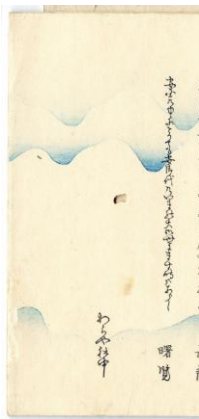
*ここでの社中は曙覧を中心に歌を学ぶ仲間のこと。5冊の歌集には、福井藩士や商人・庄屋層などのべ約110名をこえる人びとが、府中・鯖江・勝山などからも歌を寄せています。

- 1 期 間 平成26年4月25日（金）～5月21日（水） 文書館閲覧室
- 2 おもな展示資料

年 代	展 示 資 料	備 考
嘉永5年（1852） 嘉永6年（53） 嘉永7年（54） 安政3年（56） 安政4年（57）	『嘉永壬子月次初会之哥』 『嘉永癸丑月次初会之歌』 『嘉永甲寅月並初会歌』 『若くさ』 『若くさ』	加藤竹雄家文書 A0052-01561～ 01565
明治11年（78）	『志濃夫廼舎歌集』	福井県立図書館蔵

3 関連行事

- ・文学講座「橘曙覧と福井藩歌壇—加藤家蔵新出資料の位置づけを中心に—」
講 師 久保田啓一氏（広島大学大学院教授）
開催日 5月17日（土）15時～16時30分 場 所 県立図書館多目的ホール
- ・一人芝居「曙覧のうたばなし」
演者 佐々木雪雄氏
開催日 5月18日（日）14時開演 場 所 県文書館研修室



▲曙覧の歌と
「わらや社中」の表記



▲新出の「わらや社中」歌集